

浄土真宗東本願寺派野中山正山寺

ほつ寺通信

※皆さんでご覧ください。

第17号

平成30年10月10日
＜発行責任者＞
(住職) 藤野慶正

報恩講

十一月十一日(日曜)
午後一時から三時まで

例年通り、浄土真宗の門徒にとつてとても大切な報恩講が厳修されます。宗祖親鸞聖人を偲び、一緒に正信偈をお読みしましょう。また、ご好評頂いております浅草・緑泉寺の青江寛明先生のご法話もあります。仏縁を深めるためにも是非お誘い合わせの上、ご参詣ください。

■町田駅バスセンター発
小山田行

(行き) 十二時十七分
(帰り) 三時 十分

■淵野辺駅北口前発
小山田はなみずきの丘行

(行き) 十二時二十分
(帰り) 三時十八分

※小山田停留所でお降り下さい。

住職の仏々

皆さんこんにちは。今夏は、異常なまでの猛暑、台風の猛威、西日本豪雨や北海道地震など、異常気象や災害の連続だったように思います。災害に遭われた方々には謹んでお見舞い申し上げます。

また、地球規模で温暖化の影響が出てきているとも聞きます。私一人が気にしていてもどうにもならないから知らぬふり、ではなく、一人ひとりが少しでも地球を思いやり、何かしら対策していかねばならない時期に来ているのではないのでしょうか。仏教では少欲知足(欲を減らして足るを知る)をすすめています。これを全人類が少しでも気にかけていければ、それが大きな流れとなり、地球に優しい平和な生き方になりましょう。自戒を込め、書かせて頂きました。

仏旗

仏旗は、寺院において重要な法要が勤まる際に、本堂の入り口などに掲げられる旗で、これが仏教の寺院であることを表し、今まさに仏さまの教えが説かれていることを意味しています。

正山寺では例年の報恩講や3年前の開山四百年記念等の大切な法要の時に世話人さんの協力を頂いて掲げています。色鮮やかな「緑・黄・赤・白・紫」の五色の旗なんですが見覚えがありますでしょうか。これは旧来の配色で、現在では緑が青、紫が樺(オレンジ)の国際仏旗が主流のようです。(正山寺は旧来のままです)



報恩講での本堂の仏旗

「全日本仏教会」によると、一九五〇年に「国際仏旗」として採択された仏旗で用いる「青・黄・赤・白・樺」の色の意味について、次のように述べられています。

【青】 仏さまの髪の毛の色で、心乱さず力強く生き抜く力「定根」を表します。

【黄】 さんぜんと輝く仏さまの身体で、豊かな姿で確固とした揺るぎない性質「金剛」を表します。

【赤】 仏さまの情熱ほとばしる血液の色で、大いなる慈悲の心で人々を救済することが止まることのない働き「精進」を表します。

【白】 仏さまの説法される歯の色を表し、清純なお心で諸々の悪業や煩惱の苦しみを清める「清浄」を表します。

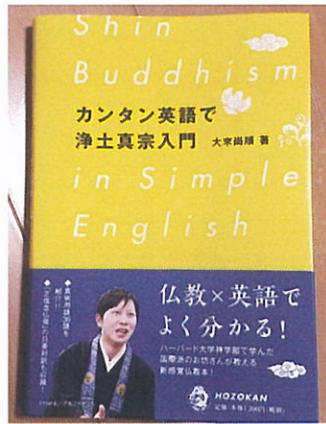
【樺】 仏さまの聖なる身体を包む袈裟の色で、あらゆる侮辱や迫害、誘惑などによく耐えて怒らぬ「忍辱」を表します。

このように、仏旗とは仏さまのはたらきを色で表したものであり、仏さまが今まさに説法をしてくださっていることを意味する大切な旗印ということなんです。

ただ、少々こじつけのような気がするという方もいらっしゃるかも知れません。しかし、それほどまでの徳を持った尊い存在であることには変わりなく、素直にそれを信じていることが大切です。私達もその仏さまに少しでも近づけるよう努力していこうという気持ちでこの仏旗を見て感じて頂ければと思います紹介させて頂きました。

書籍紹介

この通信では初めての試み「書籍紹介」です。
『カントン英語で浄土真宗入門』



大來尚順著(法蔵館)

著者は、米国仏教大学院を卒業され、ハーバード大学神学部研究員を務めるなど多方面で活躍される国際派のお坊さんです。いきなり英語?と思われることなかれ、日本では難解な仏教書が多数あり

ますが、そこをシンプルで分かりやすい英語でズバッと表現されています。特に浄土真宗にスポットを当てて平易に書かれていますので、浄土真宗の基本的な教えを学ぶにも好適かと思えます。僧侶の私から見ても、目からウロコでした。例えば、他力を、直訳では「Other Power」それを、

「Amida's working/Power」とも訳され、なるほどと思わせてくれます。他にも、浄土真宗として大切な「信心」は、「Shinjin」と表記するとしつつも、意味を踏まえて、

「Heart received from Amida Buddha」(阿弥陀仏から賜った心)とも。また、皆様お馴染みの正信偈の日英対訳も載っています。

2年後に東京オリンピックも開かれることだし、英語の復習がてら、読まれてみてはいかがでしょう。きつと、その的を得たスペシャルなメッセージがあなたのハートに届くかと思えます。少々英語力ブレですみません。(笑)

坊守のコラム

前回、もうすぐわんちゃんが出てくる!と書かせて頂いて「もういるの?見たいわ」とお声をたくさんかけて頂くことが増えました。今回は、この場を借りてご紹介させて頂きます。



モカ(現在8ヶ月) 元気にね!

トイプードルの女の子。食欲旺盛、元気一杯で、甘えん坊。部屋に一人(いやいや一匹)にされるのが嫌な寂しがりや。そして住職が大好き。なんだか息子そっくりな性格です。住職と息子が二人で遊んでいるのを見ると、モカは大暴れ。そして、住職がモカを可愛がっていると、息子は拗ねていじけます(苦笑)。そして、一人と一匹は金魚のふんのように、住職の後をついて回ります。その様子は、とても微笑ましい反面、母と私には、羨ましく思えるのでした。

子供も仔犬も、癒されますが、こちらの思い通りにいくはずもなく、私の注意する声も益々大きくなっていきます。穏やかな心構えで褒めて伸ばすを実行したい所ですが、私にとって難しい課題です。

あとがき

今回のメインは、報恩講と仏旗と言いたいところですが、読み返してみますと、モカの印象が強く、主役を取られてしまった感じでしょうか(笑)。それにしても本当に癒やされます。またその行動からこちらも日々学ばせて頂いております。今後共モカ共々、正山寺をよろしく願ひ致します。合掌

寺報「ほっ寺通信」第17号

浄土真宗東本願寺派 正山寺

住職: 藤野慶正(発行責任者)
住所: 〒194-0201 町田市上小山田町1504
電話: 042-797-1446
FAX: 042-797-9233
URL: <http://shousan.net>
メール: info@shousan.net